

患者さまとご家族に安心と信頼をお届けするマガジン／

はつらつ通信

2020.11.1 November vol.163

発行：医療法人北志会 札幌ライラック病院 編集：『はつらつ通信』編集委員会



新型コロナウイルスと付き合っ

今年もあと一カ月余りとなりました。

雪解けから暖かい季節に移り、さらに暑い夏が終わって肌寒くなっても、今年はずいぶん季節感もなく何となく日々が過ぎてきたように感じられます。その要因は、新型コロナウイルス感染防止のため院内のさまざまな会議や節目の行事が中止になり、院外でもコンサートやスポーツの試合などの人の集まり、旅行などの人の移動が規制されたことにあるのでしょうか。

文字通り他人との距離を保って行動することが提唱されているので、職場の同僚や知人との飲食も少なくなり、ただマスクをして職場を行き来するメリハリのない生活が続いていると感じる方も多いことと思います。すっかり生活習慣が変わり、今となっては昨年院内全体で忘年会をしたことが嘘のようです。

3密を避けることが感染防止の要であることは周知のことですが、我々の仕事の性質上、人と密に関わらなければならない場面が多くありなんともジレンマです。慎重を期するあまり他者との関わりが希薄になってしまい、医療現場はもちろんのこと人の暮らしに必要なコミュニケーションまで取りづらくなることを少なからず危惧しています。

感染の波が繰り返し、いまだ収束の目処は付いていません。濃厚接触者や陽性患者の発生も日常的に報じられ、「今日の感染者数」などを見聞きしても以前ほど驚かなくなりませんでした。これ以上感染を拡大させないためには、ジレンマに悩みながらも努力し続けることが大事です。当院職員も一丸となって対応しています。



札幌ライラック病院
院長 本庄 恭補



重度の透析患者さまが多い当院だからこそその特色

透析の時間を前向きに捉える工夫

当院では、長期の入院治療が必要な人工透析患者さまを、積極的に受け入れていきます。ご高齢の方ももちろん、人工呼吸器を装着した方もいらっしゃる、お一人おひとりの状態を把握した先回りのケアが必要となる場面が多くなる傾向にあります。今号では、多職種チームで治療にあたっての透析室での取り組みをご紹介します。

透析の時間に

DVDで映画鑑賞

人工透析の患者さまは、週2〜3回、毎回3〜4時間程度の長時間を透析室のベッドで過ごします。血圧などを安定させる必要があるため透析中にできることは限ら



左から樋口看護師、石川作業療法士

れ、透析中はただただ退屈なだけの時間になってしまうがちです。

「透析中に寝て過ごされる患者さまの血圧が下がるという問題があり、時間を有意義に過ごすことで起きていただこうと、透析室のスタッフでいろいろ考えました」と樋口由香里看護師は振り返ります。

そこで出たアイデアが、ベッド付属のテレビで映画を見せよう案。血圧の下がる患者さまに尋ねたところ映画は好きとのことだったので、100本以上の映画DVDを持つ若杉直樹透析室長のコレクションから好みのものをお貸しし、テレビにDVDデッキをつないで観ていただきました。



これから観るDVDをセレクト中

以来、患者さまは透析の時間を楽しみにされ透析中の血圧も安定。「あと何時間？」と毎回時間を気にしていた患者さまにも勧めたところ、「以前はストレスを抱えてい

らっしゃる様子でしたが今は映画を楽しまれています」と樋口看護師。お二人とも「次は何を観ようかと心待ちにされているそうです。



透析を受けながら映画鑑賞

歩いて活動量アップ 透析中にリハビリも

患者さまの状態によっては、透析中にリハビリを行っています。「寝た体勢でのストレッチや筋トレで、動けない透析中に活動量を増やせます」と石川美穂子作業療法士。リハビリとは別に、歩行可能な方にはリハビリスタッフが見守りながら透析室まで移動していただき、少しでも活動量が増えるよう配慮しています。人工呼吸器装着の方をはじめ、重度の患者様は言葉でコミュニケーションがとれず、透析室スタッフの気づきが大切になります。「意思疎通できなくても、患者様からなにかしらアクションはあります。それを見



運動を兼ねて透析室まで歩いて移動

逃さないよう心がけています」と樋口看護師。体位交換や清拭、痰の吸引などのケアで、気分転換を図ることもあります。



透析中にリハビリ

多様な課題 最新技術も採用

高齢の患者さまには低栄養になりやすく、透析治療に由来して起きる低タンパク質の問題もあります。当院では透析中に静脈から栄養を補給する療法（IDPN）を行っています。今年、一般用アミノ酸輸液製剤の投与禁忌から透析を受けている者が除外され、日本透析医学会雑誌7月号が投与に関する提言を掲載。当院も6月から投



透析室に行く前に、病室で体調確認

与をスタートし、「タンパク質であるアルブミンの数値が上がるなどの効果が見られます」と志田勇人理事長は報告します。

人工透析の患者さま特有の課題は、血液を透析機器に通す際に身体側の出入口として造設されるシャントの管理です。長持ちさせることで、新たに造り直す負担を軽減できます。当院のリハビリテーション科では臨床工学技士と協力し、シャントのある部位の発達に積極的にかかわっています。器具を用いたり、加圧下での掌握運動に加え、現在は低周波治療器による筋力訓練を導入するため効果判定やデモ機での勉強会などを進めています。さらに、まひ等の影響でシャ



低周波治療器のデモ機で勉強会

ント付近の関節が動きづらくなっている方や筋肉が強張っている方には、注射によるボツリヌス療法で状態を改善。筋肉の緊張による苦痛の緩和にもつながっています。多職種がそれぞれの専門性を生かし、透析患者さまにより良い治療を提供できるよう、さまざまな課題に多角的に取り組んでいます。

医療法人北志会

基本理念

私たちは、地域における病院使命を果たすうえで、「安心・信頼・満足」を目指し、よりよい医療サービス実践のため日々研鑽します。

基本方針

- 一. 患者様の生命を尊重し、人間としての尊厳及び権利を尊重します。
- 二. 専門の医療を提供し、安心して療養に専念できる環境を整備します。
- 三. 職員は、責任と誇りをもち、日々学習し、専門職としての使命を果たします。
- 四. 職種・職域を超えたチーム医療を目指します。

札幌ライラック病院は皆様に次のような権利があることを認め尊重いたします。

1. 医療を受けるにあたって、大切な一人の人間として尊重されます。
2. 受診される方の個人情報やプライバシーが守られます。
3. 病状や病名、検査結果、受ける処置やケアの内容について十分に説明が受けられます。
4. 適切な説明のもとに受診される方の意思が尊重され、最良の治療やケアが選択できるように支援します。
5. 身体的なことだけでなく、必要に応じて社会的・心理的な事柄に関しても支援されます。
6. 療養の経過すべてにわたって、ご希望されれば複数の医師の意見を求めることができます。
7. 最善で安全な医療と必要な健康教育を受けることができます。
8. 医学研究等に参加をお願いすることがありますが、拒否することによって不利益を被ることはありません。

好評です！当院の新ウェブサイト

スマホ対応でわかりやすく情報発信



当院ウェブサイト
QRコード

直感的な操作で 欲しい情報へ

この8月にリニューアルした当院のウェブサイトはご覧になりましたか？スマートフォンでのアクセスが増えたことを受け、閲覧端末の画面サイズに合わせて表示するデザインを導入。スマホやタブレットなどのモバイル端末での見やすさを向せました。また、当院の情報を求める方の立場や必要とされる情報を精査。探している情報にストレスなくたどり着けるようにサイトを構築し直しました。



「やさしい医療」を サイト構築で体現

コンテンツの精査は、職員5名による制作チームが担当しました。コンセプトとなったのは、サイトのホームにも掲げている「やさしい医療」。落ち着いた色使いとレイアウト、写真や図を多用した内容構成で、どなたにも見やすくわかりやすい、「やさしい」サイトを目指しました。当院の特色を絞り込む際には、各部署にアンケートを採るなどして全院の意向を調査。「作業を通じて当院の特色を再認識しました」と、制作チー



最新ニュースも いちはやくお届け

入院・転院をご検討の方には、コロナ禍で見学が難しいことから院内の様子やわかる写真が好評です。入職を考えていた医療従事者には、職場環境のデータが役立つといえます。毎月開催している糖尿病教室は詳



ムの人だった総務課の宮腰平課長は振り返ります。サイトのリニューアルは当院の基本理念にある「地域における病院使命」を全職員が再確認する好機にもなりました。

細が決まり次第、サイトの「お知らせ」欄でいち早く告知。お問い合わせの多い病棟の面会についても、この欄の定期チェックで最新情報をご覧いただけます。ぜひお持ちの端末のブラウザで、当院サイトのブックマーク追加をお願いいたします。

<https://lilac.or.jp/>



手ぶらのご来院でご利用可能

オンライン面会がスタート

12月から稼働開始 機材は当院が用意

かねてより検討していた病棟のオンライン面会が、12月からの稼働に向け準備中です。LINEのビデオ通話を利用し、病室の患者さまとお見舞いに来院されたご家族がお顔を見ながら会話できるサービスです。機材は当院が提供するのですが、ご家族にタブレットやアカウントを用意したり画面を操作する面倒はありません。



病室の患者さま側のタブレット



お見舞いのご家族側のタブレット

病棟が面会を禁止したのは今年2月のことでした。当院は人工呼吸器や人工透析が必要な重度の入院患者さまが多く、他の医療機関に比べ新型コロナウイルスの発症リスクが高いため、面会再開には慎重な判断が求められます。しかし、差し入れを届けに来院しながら病棟に入らず帰られるご家族の後ろ姿を見送るたび、職員たちは「なんとかしたい」と相談。苦肉の策として病棟で撮影した画像を見ていただくなど、面会に代わる方法を模索していました。



ご家族の声は 患者さまの活力源

会話を楽しめる方はもちろん、意思疎通の難しい方にとっても、ご家族との面会は元気の源。映像も届けられるので、声での会話だけでなくモニター越しに説明したり動きを見てもらったりもできます。オンライン面会をご希望の方は、当院サイトにて要領をご確認いただくか、お電話にて当院までお問い合わせください。



ご家族側は病棟ロビーでビデオ通話

職員リレー エッセー

24時間体制の裏方

ボイラー管理員
川浦 秀雄
【かわうら ひでお】

一級ボイラー技士、第二種電気工事士の資格を持ち、ボイラーマン歴は45年、第二の職場である札幌ライラック病院の勤務は5年になります。

地下にある機械設備・監視室に常駐し、院内暖房用のボイラー、冷房用の冷凍機、ろ過膜システムを用いた給水装置、給湯システム、受電設備・非常用発電機といった受電設備の保守点検、修理等を24時間交代で受け持ちます。

患者さまや職員が快適に過ごせる環境を維持できるよう、長年修得した技術を活かして、裏方の仕事を頑張っています。



小旅行の気分を届ける市民の水彩画 ご縁から生まれた院内展

当院の活動を知り、
展示の問い合わせ

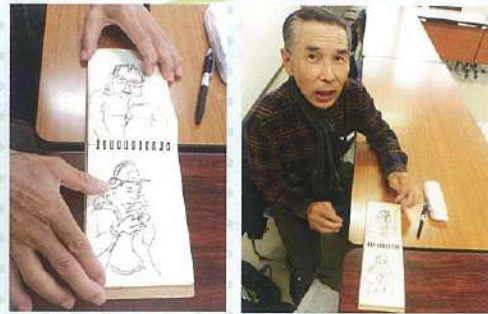
札幌市西区にお住まいの近藤信治さんは、趣味の水彩画を40年以上描き続けているアマチュア画家です。72歳になる現在も、仕事が休みの日に近郊へ出かけて四季折々の風景をスケッチしています。

「昔100枚の作品が壁面に展示されている絵画展を見て、いつか自分もやってみたいと思っただんです」と近藤さん。40年間

近藤信治さん



使い込まれたクロッキー帳



代表を務めたデッサングループを数年前に辞してマイペースで動けるようになり、かつての夢を実現したいと思い始めました。展示会場を探していたところ、絵画の仲間から見せてもらったのが「びょういんあーとぶろじえくと」の新聞記事でした。病気で外出機会の少ない方々に、小旅行の気分を届けられればと考え、当院に作品展示を打診されたそうです。



打診に応えて、
院内での展示を検討

近藤さんの打診を受けて、当院では作品の展示方法を検討しています。コロナ禍では外部に向けた絵画展は開催できませんが、病棟などに展示する小さな絵画展であれば患者さまや職員が鑑賞することはできます。

ご厚意にお応えできるよう細部の検討を進め、近日中に近藤さんの風景画が院内を飾る予定です。

描きためた風景画の数々



送迎付き 企業健診のおしらせ

当院では、企業様が定期健診や雇用時健診に利用しやすいよう、一般の健診とは別体系の料金を設定しています。無料送迎にも応じますので、医事課までお気軽にご相談ください。

基本健診 問診、服薬歴・喫煙歴の確認 / 自覚症状・他覚症状の有無の検査 / 身長・体重・血圧・聴力検査・視力検査 / 腹囲測定 / 尿検査 / 胸部エックス線検査 / 貧血検査 / 肝機能検査 / 脂質検査 / 血糖検査

企業料金

4,000円

企業健診は企業様からのお申し込みに限らせていただきます。(お申込み人数に制限はございません。1名様からお申込みいただけます。)

【企業健診】①在職職員様対象の定期健康診断 ②新入職員様対象の雇用時健康診断があります。

※②については「心電図検査」が必要となりますが、当院では1,000円の追加料金にて当該検査をお受けいただくことも可能です。



医療法人 北志会

札幌ライラック病院

〒062-0906 札幌市豊平区豊平6条8丁目2番18号

☎011-812-8822

URL <http://www.lilac.or.jp>

診療時間 [平 日] 9:00~12:30 13:30~17:00
[土 曜] 9:00~12:00

面会時間 [平 日] 14:00~20:00
[土 日 祝] 12:00~20:00



『はつらつ通信』に対するご意見・ご希望は、電話または当院ウェブサイトのフォームにてお寄せください。